

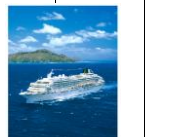
「いろいろな ふね」

1 単元の目標と評価規準

目標：文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	① 「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ② 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	① すすんで文章の中の重要な語や文を考えて文章を読み、学習の見通しをもって、読んで分かったことをまとめようとしている。

2 教材について

おわり	中												はじめ
結論	事例④（消防艇）			事例③（漁船）			事例②（フェリーボート）			事例①（客船）			話題提示
	働き	造り	役目	働き	造り	役目	働き	造り	役目	働き	造り	役目	
⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
いろいろなふねが、それぞれのやく目にあうようにつくられています。	火じがあると、水やくすりをかけて、火をけします。 	このふねは、ポンプやホースをつんでいます。	しょうぼうていは、ふねの火いをけすためのふねです。 	ぎよせんは、さかなをとるためのふねです。	このふねは、さかなのおれを見つけるきかいや、あみをつんでいます。 	ぎよせんは、さかなをとるためのふねです。	人は、車をふねに入れてから、きやくしつで休みます。 	このふねの中には、きやくしつや車をとめておくところがあります。	フェリーボートは、たくさんの人とじどう車をいっしょにはこぶためのふねです。	人は、きやくしつで休んだり、しよくどうでしよくじをしたりします。	このふねの中には、きやくしつやしよくどうがあります。 	きやくせんは、たくさんひとをはこぶためのふねです。	ふねには、いろいろなものがあります。

本教材は、4つの船を事例に挙げて、船の造りと働きの関係について書かれている説明文である。どの事例も同じ順序で説明されており、児童にとって読みやすく学びやすい教材である。

3 単元の指導計画(全7時間)

次	時間	学習目標	学習活動
第一次	1	・教材文や課題に興味をもち、本文を音読することができる。	○写真クイズをする。 ○写真クイズや、本単元の題名当てクイズをする。 ○教材文を音読する。 ○本時の学習を振り返る。
第二次	2	・教材文全体を読み、船がどのように紹介されているかを知る。	○本文を一人で黙読する。 ○形式段落に番号をうつ。 ○4つの例の紹介文の構成を知る。
	3	・客船の役目と造り、働きを考えながら、表にまとめ、伝え合う。	○本時のめあてを知る。 ○客船の役目と造り、働きを表にまとめる。 ○まとめたことを友達と伝え合う。
	4 2組 本時	・フェリーボートの役目と造り、働きを考えながら、表にまとめ、伝え合う。	○本時のめあてを知る。 ○フェリーボートの役目と造り、働きを表にまとめる。 ○まとめたことを友達と伝え合う。
	5 1組 本時	・漁船の役目と造り、働きを考え、一人で表にまとめ伝え合う。	○本時のめあてを知る。 ○漁船の役目と造り、働きを表にまとめる。 ○まとめたことを友達と伝え合う。
	6	・既習事項を生かし、消防艇についてまとめ、伝え合う。	○本時のめあてを知る。 ○消防艇の役目と造り、働きを表にまとめる。 ○まとめたことを友達と伝え合う。
第三次	7	・学習した船の中から一つを選び、紹介カードを作る。	○本時のめあてを知る。 ○好きな船について話し合う。 ○船のカードを作り、友達や家族に話すための準備をする。

4 全力参加のための手立て

ダウト読み

キーワードを意図的に変え、間違い探しの感覚で文章に入り込ませる。

→学びに向かう人間性

並び替え

センテンスカードの並び替えて内容理解と構造理解につなげる。

→内容・構造理解

5 本時の展開(全7時間中の第5時)I組

本時の目標:漁船の役目と造り、働きを捉え、学んだことを友達に伝えることができる。

時間	学習活動	・指導上の工夫 ▲個別の支援	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1 本時に関わる船のクイズに取り組む。 ぎよせんについて ひょうにまとめて、ともだちと つたえあおう!	・前時までに学習した船の写真を視覚化し、分かりやすくする。 【視覚化】	 読みたい
展開I 20分	2 本文を音読し、知らない語句の確認をする。 T:群れを見付ける機械ってどういうことか分かる?誰か、教えて。 C:魚がたくさんいる集まっているところ(群れ)を見付ける機械。 C:魚がかたまっている所が分かったら、一度にたくさん釣れる。 3 センテンスカードの並び替えをする。 T:順番がバラバラになったこの文、このままで良い?並び替えてみる? C:たしか、役目が最初だった。 C:そう、次が造りだったかな…。 C:最後は働きだったから… 4 漁船の役目と造りを表にまとめる。 T:もうみんな3回目だから自分でできそうだけど、どう?チャレンジしてみない?	・ミニ教科書を準備し、本時の内容に焦点化することで、他のページを読まないようにする。 【焦点化】 ・本文を構成する「やくめ」「つくり」「はたらき」の順番に注意し、気がつくようにしかける。 【しかけ】 ・活動が3回目になるため、個人で取り組むよう声掛けをする。	漁船についてまとめることができるか。(ワークシート)
展開2 15分	まとめたけど…②と③を並び替えても大丈夫だね?(ゆさぶり) 5 発問に対し、ペアで交流する。 C:確かにこれでもいいよね。 C:いや、だめでしょ。「このふね」って言うてるからこの順番じゃだめじゃない? C:③が初めじゃだめなのかな。	▲ペアでそれぞれ立たせて交流し、終わったところから座らせて全力参加を促す。 ▲「何となく」ではなく、本文を基にした正当な理由付けをするように声掛けをする。	本文を基にして、友達に説明することができるか。 (観察)  考えたい・読みたい

まとめ 5分	6 本時を通して分かったことをペアで 交流し、次時の内容を知る。	▲ 漁船まで終わったことでこれま での船の特徴を振り返り、次は 「何か」という思いをもてるよう にする。	 伝えたい
-----------	-------------------------------------	---	---

6 板書計画

はたらき	つくり	やくめ	ふね	
す。 を した りし ま す。	や （ ハ ） ） が あ り ま す。	た く さ ん の は こ ぶ た め の ふ ね で す。	 き よ く せ ん	見つけた さかなを あみで とります。 この ふねは、さかなのむれを 見つけるきかいや、あみを つんでいきます。 ぎよせんは、さかなをとる ための ふねです。 ぎよせんにくわしく なって、ともだちと つたえあおう！ いろいろな ふね
す。 を した りし ま す。	き よ く し つ で （ ハ ） ） を と め て お く ま す。	た く さ ん の 人 さ か な を を い っ し よ に は こ ぶ た め の ふ ね で す。	 フ エ リ ー ボ ー ト	
す。 を した りし ま す。	（ ハ ） ） を 見 つ け た	さ か な の	 ぎ よ く せ ん	
す。 を した りし ま す。	す。 を した りし ま す。	す。 を した りし ま す。	 し ょ う ぼ う う で い	

7 授業観察の視点

- (1) 本時のねらいが達成されていたか。そのための指導法が考えられていたか。
- (2) 児童が全力参加する姿が見られていたか。
- (3) 分かりやすく、考えを深めたり広げたりするために有効な発問であったか。